

旭川市科学館サイパルの民間活力導入に係る
サウンディング型市場調査 実施結果の概要

1 調査の目的

本市では、「行財政改革推進プログラム2020」を策定し、持続可能な財政運営と行政サービスの維持のため、民間活力の活用を掲げ、施設等のサービスの向上と効率的な管理運営体制の検討を進めています。

今回の調査は、民間事業者の皆さまとの対話の場を設定し、旭川市科学館サイパルの魅力やポテンシャル、課題等を整理し、施設の将来像を明確化することを目的としています。

2 対象施設

旭川市科学館サイパル（旭川市宮前1条3丁目）

3 調査の経過

日程	内容（カッコ内は参加者数）
令和3年9月13日（月）	調査実施の公表
令和3年10月6日（水）	現地見学会（2者） 説明会（2者）
令和3年11月19日（金）	サウンディング実施

4 サウンディングの参加者

1者（市内0者，市外1者）

5 サウンディング結果の概要

対話項目	対話概要
1 サイパルの印象	
(1) イメージ・ポテンシャル・ニーズ	職員自身で展示を制作し運営している点は特徴的である。
(2) セールスポイント・ウィークポイント	ファブラボ設置で市民の創造的な活動を支援していることや旭川ならではの魅力を生かしている点は強みである。 2階以上の施設は気軽に利用しにくい印象のため、サインの工夫など無料エリアのアピールをすることが期待される。
2 新たな価値を付加するには	
(1) 新たな施設利用の可能性(ユニークベニューやMICEなど)	科学館単体でのMICE誘致は難しい。

(2) フリースペース（ホール・休憩コーナー・屋上・屋外・壁面・空間）の有効活用	フリースペースでの収益性を求めるのは難しい。
(3) 副次的な集客要素（ミュージアムショップなど）充実のアイデア	ミュージアムショップ単体での集客を期待することは難しい。
3 活動財源を確保するには	
(1) サイパル☆みらい基金を育てるアイデア	寄付をしたくなるような工夫・取組みの可能性などを探ってはどうか。
(2) 自主財源確保のアイデア	具体的な回答はなし
4 民間企業・団体の施設運営参画について	
(1) 参画の可能性・ニーズの有無・メリット・デメリット	運営業務への参画は条件次第である。
(2) 参画の条件※指定期間、運営方式（指定管理や業務委託、料金制度導入など）	利用料金制度導入は、指定管理が必須、運営委託の場合は、利用料金収入見込み相当額を委託費用に組み込むことが望ましい。 運営期間は、指定管理は3～5年、PFIは15年程度が一般的
5 その他	意見交換

6 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

「旭川市行財政改革推進プログラム2020」では、社会教育施設等への指定管理者制度の導入を令和4年度から実施としていますが、現状では科学館への導入には時間を要すると考えております。

今後は、受け手となり得る見込みのある企業・団体等の発掘・調査や導入に向けた課題の整理などを行います。